

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				令和7年3月31日	
NPO法人 重症児デイサービスひろがり2くみ							
		チェック項目	はい	いいえ	わからない 無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	0	利用児の行動範囲を考慮した配置対応されている。病院や施設のようにではなく、家庭的な環境を重視している。別室として4部屋は用意している	事業所の特性を活かすために適したスペースではないという意見もある。家庭的環境を重視しているため、マイナス要素もある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	1	0	指導員と看護師、訓練士などを合わせると、一人のお子さんに2～3人配置していることも珍しくはない。手厚い体制である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	1	病院や施設のようにではなく、家庭的な環境を重視している。別室として4部屋は用意している。物の置き場など整理しておくように配慮している	利用児が多く2部屋に分かれた時は細かな伝達は難しいので、電話なども活用して伝える。活動動線は極力開けて通りやすいように配慮が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	1	暑がり寒がり等、児に合わせた配慮考慮されている。	利用者数が多く職員も多いときは、工夫して少しでも快適に過ごせるように努めている。グズが清潔ではないこともあるので、清潔を保つように日々努めていくことが必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	1	放課後等デイサービスとして確保できる部屋数が8部屋ある。個室として4室はつかえるので個別の学習もほぼ対応できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	3	職員会・職員研修会・毎日の打ち合わせ等で共有理解できるようにしている。	運営に関するチャレンジザひろがりに関してはできているが、一部のみの計画もある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	2	アンケート実施。送迎時の意見交換	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	2	意見箱を設置している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	3	第三者機関はおこなっていない。	検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	0	年5回の外部向け主催研修に職員も参加。月1回の職員研修。週1回の専門研修と基礎研修を実施している。外部研修にも積極的に参加	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	1	ストックからひろいあげ、情報交換をし、情報をまとめて保護者さんとも話し合うシステムになってきている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	1	ストックで共有され、意見交換の場としている。正職員会、職員会等でケース会をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	0	ストックで共有され、意見交換の場としている。正職員会、職員会等でケース会をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	3	摂食評価表、発達検査など必要に応じて取り入れている。全員のアセスメントは、児発管中心に行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	2	本人支援・家族支援が徹底できるように、詳細な内容を記入している。	ガイドラインの提示がなく内容不明。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	3	季節ごとに創意工夫して、チームで取り組んでいる	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	2	毎日ねらいを定め、担当についたとき、それに基づいて実施している。毎月の変化がある	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	0	ふれあいタイム、ランチタイム、お楽しみタイムは集団で行い。個別訓練、個別政策などは、個別に取り組んでいる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	1	毎朝、打合せを行い、確認している。その内容などは、その場にいない職員にも一斉に配信している。ストックで共有され、意	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	1	振り返りはそれぞれストックにて行い、朝の打ち合わせにて対応している。気づいた点を話し合える環境にある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	0	ストックで共有され、意見交換の場としている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	1	職員会などで、モニタリングの情報交換をしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	2	自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供の4つを取り入れている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	2	質問し、細かな変化に気付ける様対応。	自己決定する力とは別の力を育てている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	0	参加して、強雨通理解と情報交換に努めている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	0	お子さんの状況に応じて、関係機関と密に連携し、よりよい支援につなげるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	1	必用に応じて、積極的にやっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	1	訪問さんも含めて、積極的に連携し、情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	5	必用に応じて、ケース会などにより移行支援を積極的に行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	3	必用に応じて、連携し、情報交換やお互いの主催する研修会に参加しあっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	1	近隣の保育園との交流を計画中。キッズボランティアとして、職員の子どもとの交流などもしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	3	都合がつく範囲で参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	0	面談、電話、ライン、送迎の際にも行っている。毎日の連絡帳でも共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	0	ひろがり主催の研修会に参加を促したり、土曜日の食楽の日などで、家族支援に力を入れている。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	0	契約時に、管理者から、ていねいに行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	1	できるかぎり面談して、ていねいに意向を聞きするようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	0	得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	0	子育て支援を重視し、いろいろな機会を通じて悩みなどの相談に応じ、できる限りの助言などを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2	1	食楽の日を作り、食事支援を通し、保護者同伴でのご利用、保護者同士で交流できる場づくりを行っている。	

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	0	キッチンだよりで「食べる支援」について通信を発行している。インスタ、フェースブックで、行事や日々の取り組みを発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	0	職員には、個人情報の取り扱いについて、誓約書で確認している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	0	職員配置が手厚く、すぐに表情の変化に気づける。毎日の連絡帳や保護者とのラインによる意思の疎通、情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	1		今後予定し、少しずつ取り組んでいきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	0	新しい情報の収集と連絡について周知し、ラインで流している。	職員会を通しての教育の機会はあるが、定期的の実施し、周知徹底をさらに図れると良い。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	0	個人別に医療的な情報を整理し、すぐに確認できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	0	指示書に基づいて行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	2	主に職員研修会で研修し、随時訓練を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	1	家族様からの申し出に対応できている。	十分とは言えないので、周知するようにしたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	0	毎月の職員会で、ヒヤリハット報告を行って共有し、対策を検討している。ストックでも共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	0	年に2回程度、職員研修会を行い、外部の研修会へも積極的に職員が参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	2	身体拘束にあたりそうな事例について、職員会などで話し合っている。	